

## アンケートのお願い

2017年6月

としまの空を考える会

代表 吉田雅明

携帯：090-1663-4538

私たちは「としまの空を考える会」です。

これから、都議会で活躍されようとされている候補予定者の皆様方に、現在、豊島区民が大変重要な問題と考えている豊島区上空の低空飛行ルート問題についてアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。

羽田空港増便計画として、従来の東京湾からの発着に変えて、豊島区上空を低空で飛行し、羽田に着陸するルート案が2016年4月19日、国土交通省から発表されました。南風の好天時、15時から19時の間、板橋区常盤台方面から千川駅近く、東長崎駅、椎名町駅の間を抜けて、落合南長崎駅方面に向けて豊島区西部地区を縦断するように1時間に31機（山手線のピーク時以上の本数）、4時間で120機以上の飛行機が上空、高度1200メートルから1000メートルという低空で飛ぶ計画案です。

国土交通省では、2020年オリンピック、パラリンピック大会前からの実施を目指し、昨年6月上旬に豊島区内でパネルを使った説明会が2回実施されましたが、118名の参加のみでした。説明会のことを、区民の多くの方はもとより飛行ルート直下の住民の方さえ知らない状況だったので、「としまの空を考える会」では、更なる周知の場の開催を国交省に要請をする一方で、2回の学習会を行いました。昨年の7月30日（土）午後150名の千早や長崎、南長崎の住民の方が集まり、TVにも出演している航空評論家の秀島さんを講師に住宅密集地上空の飛行ルートの危険性について学びました。2回目は今年の3月3日（金）の夜に80名の住民の方が集まり大田区議の奈須さんより羽田空港の沖合移転の経過、「海から着陸し、海へ離陸する」原則など学びました。

3月24日には、私たちの要請である教室型説明会を開催せず、またもや国交省はパネル展示のオープン形式という説明会を南長崎で開催しました。この説明会に参加した住民の方から国交省の責任者による説明が会場で直接求められ、18時より急遽その場にいた50名ほどの住民への教室型説明会が自然発生的に開催されました。住民の方は「とにかく実施はやめてほしい」や「これだけのリスクを抱え1時間に10便しか増えない飛行ルートを強行しようとするのか理解できない」「観光客を集めるためと言いながら町の魅力を低下させる計画を実施しようとするのは間違い」など意見が続出しました。

日本の10月の外国人観光客は同月比で前年度より37%増えています。増えている国の多くはビザが緩和された国です。さらに円安も大きく寄与しているといわれています。羽田の国際便が増えて観光客が増えたわけではありません。国交省は羽田をさらに増便して外国人観光客を増やすといいますが、増便と観光客の増は現在関係がありませんし、今後も

関係があるとは思えません。観光客を増やすには、町の魅力を増やすことが必要で、東京の街の低空を飛行ルートにすることは逆行と言えると思います。

私たちが開催した2回の学習会では、どちらの回も「議員は何をしているのだ！」という声が上がりました。そこで、これから、都議会で活躍されようとしている皆様方のご意見を伺いたくアンケートを実施することにしました。

ぜひともアンケートへの回答を自由意見でも結構ですのでお願いします。回答はコメントをつけず会のホームページに掲載します。回答は直接私たちにお渡しくださっても良いですし、FAXでも良いです。FAXの番号は03-3957-8442です。

ご多忙のところ大変申し訳ございませんが、6月16日（金）までに返信頂けます様お願いします。